

# S S T K

# さくら草だより

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会  
〒332-0011 川口市元郷1-10-13  
電話 048-225-1625

編集人 社会福祉法人さくら草

〒336-0015 さいたま市南区太田窪 3501-2

電話 048-813-7426 Fax 048-886-6301

HP <http://www.sakuraso.net/>

E-mail [sakuraso@www2.kiy.jp](mailto:sakuraso@www2.kiy.jp)



## デイセンター さくら草

### いぶき日誌

ある日の午後、天気は良好です。少し空気に冷たさを感じます…。正直、悩んでいました。春のいぶき班の公約に、「営業」が組み込まれていたことにです。まず第一歩、さくら草の製品を置いてくださっている近所の喫茶店に、立て札を置くという仕事をもらい、鈴木尚子さんと向かったある日。すると、休業中にもかかわらず、お店を開けてくれ、お土産に売り物のケーキまでいただけてしまいました。

今日は、そのお礼回りです。今度は、ケーキを買って、しっかりお礼を言いに行こう。と、尚さんは趣味の買い物に心おどらせ向かいました。「お持ち帰りはできません。」というシステムには誰も気づかずに…。他のお客さんの手前、素直にお店を離れたものの、車の中では熱いもどかしさの視線が私の背中を突き刺し車を走らせました。

偶然とまった交差点の向かい側に、かわいらしいパン屋、隣におしゃれな小さなチーズケーキ屋が見えました。すかさず車を止め、そのチーズケーキ屋に入店すると雰囲気の良い店内にショーケースが並んでいます。相方はと云えば、丁寧に車イスに座り、おすまし！お店の方オススメの一品(この時のお店の人との会話が重要！)を買ひ、その日は帰路につきました。この相棒、尚さんとの活動が、もしかすると、さくら草の輪を広げるかもしれない…。

いぶき「営業」班がいよいよ動き出す！？まずは、おいしくて雰囲気がいいチーズケーキ屋さんがあるってことをみんなに知らせなくては。(野島)

「チーズを使ったおいしいケーキ屋さんがある！！」と聞いて「行ってみたいなあ」と思ったら即行動！！と、その日たまたま(ごめんなさい。)担当だった鈴木尚子さんを連れて車を



忘年会、班対抗ボウリング大会にて

走らせました。いぶき班でもずーっと前から「何か出来ることを！」と模索中で窓に半紙と墨汁を使って味のある告知を窓に貼ったり、いぶき班なりに考えていました。ふと頭によぎるその考え…。

「募金箱」置かせてもらえないだろうか…?! 1 回お店に行ったから常連さんになったら顔も覚えてくれて置かせてもらえるかも…!! と安易な考えをしながらも「だめだったら、ダメで、ま、いっか！」と尚さんに言いながらもニタニタする尚さん。お店に到着。入るといい香り。すると

「すみません。先日男性の方と来てくださったのですが、お釣りを間違えてしまって…。今日返金させてもらっていいですか？」とのこと。

「ん?! てことは、尚さんのことをもう覚えてくれたんじゃない?!」と頭をかすめる…。チャンス!! ここは行くしかない!!

「あの、この近所にある施設なんですけど、募金活動をしているんです。出来たら募金箱をおかせて欲しいんですけど…。」と人生初の営業?! を尚さん共々してし

まったのです。今考えると恐ろしい・そして失礼な・大胆な・ことをしてしまったのです。すると

「あ、いいですよ！置くだけになっちゃいますが…」という返事ではありませんか？！あまりにあっさりオッケーだったので、キョトンとしてしまった。

一方の尚さんは、表情をまったく変えずいつもど〜りにケーキをジューッと見てお買い上げ！！鼻息をフンフンさせながら、車に乗り込み鳥肌が…。これってすごいことじゃん！！契約取ったようなもんだよね？！やっぱり契約って1回目は、伺いをたてて顔を覚えてもらってその後、契約を取る為頑張るんだよね？！尚さんやっぱりすごいよ！！さくら草に戻ってからも、もちろんいろんな人に喋りまくって尚さんは褒めまくってもらいました！！どんなに重い障害があったって、出来ることは沢山あるし、それを一緒に出来るって幸せで感動でおもしろいんだなあと思わせてくれた尚さんでした。

(吉田)

## 利用者本位で変わらず地道に

障害者自立支援法に揺さぶられた年に開設して早1年が終わろうとしている。利用者は落ち着いてきたが、年明けから新体系への移行、4月には新たな仲間が増える。初年度ということもあるが、激動する障がい者福祉の影響がある。さくら草が落ち着くまではもうしばらくかかりそうだ。

障害程度区分の判定が確定してきた。障害程度区分5以上が75%を占め、新体系では生活面での介護が必要な「生活介護」に該当する。これまで自立支援法の日払いの影響を受け、介護者を雇用できず利用者には待ってもらうことが多く不便をかけた。利用者ニーズに応えられるので新体系への移行を考えている。

同時に、「授産施設」からの移行ということもあり、工賃三千円を最低基準におく「就労継続支援B型(以下、B型と略します)」も行う多機能型となる。

B型に登録する3分の2の方は、生活介護とB型の両方の支給決定を受けていただくことになる。車椅子の利用者は、1時間の作業をした後には、背骨の側弯が進まないように横になる必要がある。日常生活上の介護や健康管理などで生活介護が不可欠だ。重い障がい者の「働く」は、作業に向かう働きかけや一動作ごとの声かけ、手を添えての作業、トイレ介助等の生活介護が基本となる。

今年に入り、保護者の方からも利用者の感性を活かした仕事を提案いただき、ボランティアさんがリサイクル事業を率先して手伝い、資源を提供して下さるように呼びかけをして下さっている。お蔭さまで協力者も徐々に増えてきた。新たなB型の事業は、就労に結びつけるには厳しい報酬単価だ。協力して下さる方がいるから行える。B型が求める就労に向けた取り組みには、利用者層の広がりも必要だ。工賃増収の取り組みなど、時間をかけて歩みを進めていくしかない。

新体系に移行しても、これまで同様、利用者本位の日々の取り組みを地道に重ねていくしかない。(山本)

### <活動報告>

(18年10月6日～19年1月10日)

- 10月 11日～ 13日 宿泊②
- 10月 14日 福祉バザー
- 10月 31日 音楽交流会
- 11月 2日 誕生会(石森・板倉・吉川・林)
- 11月 10日 運動会(浦和障がい者施設連絡会)
- 11月 17日 インフルエンザ予防接種
- 11月 24日 音楽交流会
- 12月 1日 誕生会(蛭田・松村・柳澤・澁谷)
- 12月 29日 利用者忘年会(ボウリング大会)

ヘアカット(理・美容) 通院介助  
 体重測定—毎月初旬 音楽療法—月1回  
 陶芸—週1回  
 健康診断—年2回 静的弛緩誘導法訓練会参加—月1回  
 アロマセラピー—月1回

# 南区障害者生活支援センター

## あみ〜ご

今回は、あみ〜ごの活動の一部をご紹介します！

### ☆おもちゃ図書館☆

あみ〜ごでは、障害児やそのごきょうだいの遊び場として、おもちゃ図書館を開放しています。おもちゃの貸し出しもいたします★



ばいきんまんも仲間入り！

### ☆憩いの場☆

こちらは当事者の方に開放しているスペース。精神保健福祉の資料も少しずつそろってきています。ゆったり落ち着ける憩いの場です。



### ☆胃ろうの会開催☆

胃ろうの会が2006年11月27日あみ〜ごにて行われました。

胃ろうの手術を受けた当事者のお母様たちから、現在、困っている・悩んでいる当事者のお母様たちへ思いや体験、現在状況等、語っていただきました。会の記録もようやく完成しました。

記録(抜粋)

お風呂にジャボット・・・  
床ずれが自然に・・・  
肌にいろつや・・・

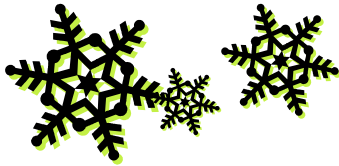
ご関心のある方は、あみ〜ごまでお問い合わせください。

南区障害者生活支援センターあみ〜ごは、三障害(身体・知的・精神)対応の、さいたま市より事業委託を受けた支援センターです。相談支援を業務の中心とし、上記のような活動も行っています。利用料は無料ですので、お気軽にご利用ください。

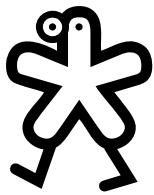
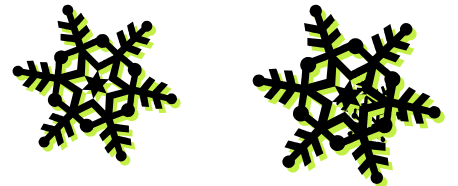
〒336-0022 さいたま市南区白幡 5-11-16(武蔵浦和駅近く・デイセンターさくら草跡地)

電話・FAX:048-866-5098

相談受付時間:月～金 10:00～17:30 (開所時間:9:30～18:30)



# サポートさくら草



## 福祉って何て言う？

言葉のもと、語源には諸説ありますが、「福祉」の語源はご存知ですか？

「福」と「祉」に共通する「示」は神を表し、「一」「口」「田」で酒壺を表します。そして「福祉」とは、「神がその場に止まり、酒壺に象徴される恵みを振舞う」ということ。

今の福祉の現状とは少し違う・・・かな？

措置から契約に替り、障がい者を取り巻く環境も変化しています。契約制度になることはとても有意義なことのはずなのに、なにかストンと腑に落ちない。その気持ちの奥底には「福祉」の語源が持つ、「神の無償の恵み」のイメージがあるのかもしれませんが。

サポートさくら草では、契約制度に則って通常利用していただいています。

しかし、忘れてはならないこと。サポートさくら草が、設立当初から目標としていた「福祉救急」です。ケガをしたり急病になったら、救急車を呼びますよね。同じように「介護者の緊急事態」に対応できる施設・体制作りを目指しています（←まだまだ理想にはほど遠いですが・・・）。

緊急時に安心して介護を任せるためにも、通常時に利用して、お子さんの様子をみんなに知ってもらおう。契約制度になったからこそ、出来る利用の方法です。

今の「契約制度の福祉」を表す、新しいイメージ、現状にあった言葉が必要なのかもしれませんね。



# サポートゆず



「ゆずの交換日記」から..... 2



11月12日 ヤックンの下町散歩

狂象

今日は木枯らし一番の肌寒い日だったが、体調も良さそうなので両国の江戸博物館に行く。

ゆず出発 10:30. 澄みきった秋晴れた。電車が遅れている。アナウンスが有り、風除けで待つ。今日のスケジュールをいろいろ説明する。ウンウンとうなずくが、ランチの話には俄然目が輝く。京浜東北は日曜日のせいか混んでいる。川口駅で二人とも座れる。「晴れてよかったね」と微笑む。二度の乗換えが有り、階段は苦手だ。特に降りる時。

現地着 11:50. まずは腹ごしらえだ。ファミレスを探し、ハンバーグ定食を食べる。ヤックンの一番幸せの時間だ。



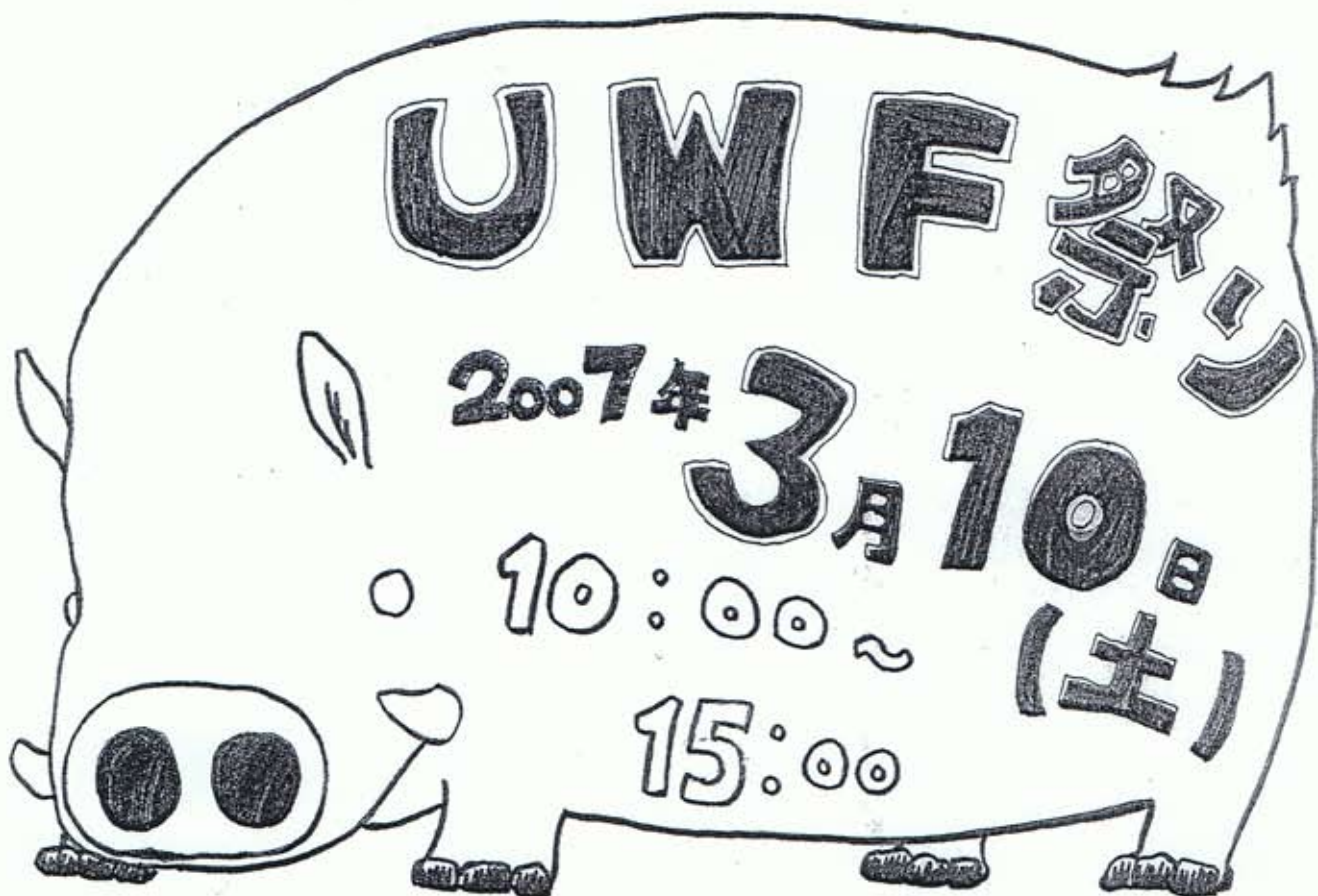
食後、国技館をバックに写真を撮り江戸博物館に向かう。上下造りのエスカレーターにビックリしていた。特別会場で「江戸の誘惑」というタイトルでボストン美術館所蔵の浮世絵展をやっていた。江戸の文化がわかるかな？然し遊女の手招きしているところでは立ち止まる。彼も男か…

別会場では中村座でのイベント。江戸の町並み。こちらでは動きも有り、興味深く見ている。大名駕籠に乗ったところを、カメラに収める。出来上がりだ楽しみだ。「小林先生と加藤先生と小島先生に見せるんだ」とさかんに言う。彼とは小学生以来の付き合いだがずいぶんたくましくなった。「今日は来て良かったね」お世辞も上手くな



ったもんだ。学校もあと2年、サリバン先生のようにはいかぬが、もう少しハードルを上げて自立できる様、お互い頑張りよう。

ゆず着 3:00



太田裕美 チャリティ・アコースティックコンサートへの

ご協力ありがとうございました



太田裕美さん、谷山浩子さんの澄んだ歌声、そして多くのボランティアさんに支えられた温かなコンサートになりました。

後援会になりまして初めてのチャリティコンサートを会員ひとりひとりの協力を得て、成功させることができました。

ご協力ありがとうございました。

また、秋晴れの下、後援会として参加しました。二度目の競馬場バザーが盛大に行われました。たくさんのお客様と楽しくやりとりをしながら、しっかり収益をあげることができました。バザー品のご協力等、本当にありがとうございました。